

まちの話題

第1回中体連陸上大会
一中が総合優勝！



↑県大会出場を目指して、熱戦を展開しました！

9月29日（火）、市陸上競技場で、記念すべき第1回玉名荒尾中学校体育連盟陸上大会が開催され、荒尾第一中学校が初優勝しました。学校数の減少などの理由により、市と玉名郡市の中体連が統合し、各種競技が行われています。陸上競技においても16校から生徒およそ千300人が参加しました。荒尾一中はいずれの種目においても安定した好成績を残し、第一回大会に総合優勝という名を残しました。

100歳おめでと〜うございます
平田ナニエさん（大平町）



これからもお元気で過ごしてください！

10月に100歳のお誕生日を迎えられた平田ナニエさん。10月5日（月）前畑荒尾市長より記念品が贈呈されました。ご家族に囲まれ、たくさんのお祝福を受け、市長訪問のひと時を過ごされました。

荒尾市から絵本を発信！
友枝康子さん（向陽台）

10月6日（火）、友枝康子さんが、今年2月に出版された絵本「もちこめちゃんのだいかつやく」が全国学校図書協議会選定図書に選ばれたことを市長に報告しました。

友枝さんは「このたびの選定図書指定は大変励みになりました。」

りました。来年はまた違うテーマを取り上げて出版したいと思っています」と意気込みを語りました。



↑絵本への反響も大きく、お手紙などで感想もたくさん届くそうです

中秋の名月とともに楽しみました〜音と光の祭典〜



↑キャンドルが灯った夕方以降は風も涼しく雰囲気満点でした

10月3日（日）、宮崎兄弟生家施設で第4回音と光の祭典が開催されました。生家の屋根の上に浮かんだ

中秋の名月と廃油キャンドルの明かりのもと、バンド演奏やダンス、ブラックシアターや中学生によるお茶会など盛りだくさんの内容で、およそ千人の観客が訪れ、にぎわいました。



↑土の中からは…大きなカライモがたくさん！

とカライモが入ったカレーライスも用意され、参加者はイモ掘りの体験のあと、舌鼓を打ちました。

荒尾の秋は実り豊かに
秋の収穫祭

10月12日（月・祝）、文化センターで「秋の収穫祭」が開催されました。

市内で収穫された米や野菜、果物や海苔、菓子、焼き物などの特産品の販売が行われました。

たくさんの方が訪れ、用意された試食を味わいながら、秋の一日を満喫していました。



↑ハーブやみかん、新米、梨、カライモなど、すらりと秋の味覚が並びました

**スポレクあらかわ09
緑ヶ丘小校区が初優勝！**

10月11日（日）、陸上競技場でスポレクあらかわ09が開催され、およそ千人の市民の代表が校区ごとに16種目で競い合い、汗を流しました。

総合優勝は緑ヶ丘小校区で、四小校区との統合後、初めての優勝でした。

●入賞

優勝 緑ヶ丘小校区
準優勝 八幡小校区
三位 二小校区



↑チームワークも抜群！

↑はつらつとしたプレーが光りました



**世界遺産登録を応援！
市民参加で「万田坑彩々」**



↑合唱には一般公募の市民の皆さんも参加しました

10月12日（祝・月）、文化センターで創作舞台「万田坑彩々」が上演されました。

このステージは、万田坑の世界遺産登録を市民の力で盛り上げるため、万田坑をテーマにゲスト演奏・合唱・バレエ・座談・日舞・民踊・ストリートダンスで構成されました。また、万田坑をテーマにした絵画や写真の展示も行われました。

観覧に訪れた人は舞台や展示を楽しみながら、万田坑とともに歩んできたわがまち「荒尾」に、改めて思いを馳せていました。

**秋の風物詩「のぼろさん」
風流・節頭行事**



↑節頭差し立て行事。祝いの歌が秋空に朗々と響きました

↓市のみどり推進協議会によるツツジの苗木配布も行われました。お祝いの記念樹になりますね



10月15日（木）、野原八幡

宮例祭が行われ、県指定重要無形民俗文化財である風流（表紙）と、市指定無形民俗文化財である節頭差し立て行事が奉納されました。約75年余りの歴史を持つ節頭行事は、今年は荒尾地区と宮内地区が奉納しました。

当日は七五三のお祝いで多くの親子連れで賑わっていて、訪れた人は2つの歴史ある伝統芸能を堪能していました。

東邦ホールディングス（株）と立地協定に調印しました

10月20日（火）、市役所で東邦ホールディングス（株）（東京都、濱田矩男代表取締役社長）との立地協定調印式が行われました。同社の事業運営会社の東邦薬品（株）が水野工業団地内に医薬品の物流センターを建設します。



↑前畑市長と握手を交わす松谷高顕会長

物流センター建設に伴い、地元から80人程度の新規採用が予定されています。

**「荒尾市暮らしの便利帳」
共同発行協定に調印しました**



↑前畑市長と握手を交わす村田代表取締役社長

市役所での手続きや公共機関の案内などを掲載した「荒尾市暮らしの便利帳」共同発行の協定を、10月21日、(株)サイネックス（大阪市、村田吉優代表取締役社長）と結びました。

官民協働事業として市が情報を提供し、便利帳の編集・発行から配布まで、経費のすべてを民間企業であるサイネックスが広告収入でまかないます。

来年2月までに広告募集を行い、6月頃には市内の全家庭に配布する予定です。